

平成 30 年度 うべ女性活躍応援ネットワーク「第 2 回会議」 会 議 録

〔日 時〕 平成 30 年 11 月 22 日(木) 16:50～17:40

〔場 所〕 ときわ湖水ホール 1 階 ミーティングルーム

〔出 席〕 委員 13 人（折原, 渕上, 藤井, 岩本, 佐野, 内海, 齋藤, 山村, 平中, 三間地, 柳, 藤崎, 三戸）※欠席 6 人（宗田, 河野, 岡井, 西村, 今田, 山本）
オブザーバー 1 人（殿元(代理)）※欠席 1 人（前村）
事務局 4 人（平山(理事), 植野(課長), 林(副課長), 三井(主任)）

◆議 題

・会長を議長とし、議事を進行。概要は以下のとおり。（※_____は、今後、検討を要するもの。）

(1) 本日の啓発事業(女性たちの交流会 in 宇部)に対する意見について

・委員からイベントの企画内容や実施結果等について感想を伺った。

主な内容

- ・有意義な内容であったので、部下を連れてくれば良かった。
- ・男性にも聞いていただきたい内容だった。
- ・基調講演では(開会行事が伸びたことで)時間が押してしまい、講師が早口になってしまったのが大変申し訳なかった。
- ・もう少し会場とのやり取り(質疑応答)の時間を増やせると良かった。
- ・もっと多くの方に聞いてもらえるように、今後は動画を撮ってホームページに掲載するなど、誰もが簡単に閲覧できるようにしてみてもどうか。
- ・さまざまな工夫事例が紹介されたが、今後これらをどう普及させていくかが重要だと感じた。その意味からも、動画の活用などは良いアイデアだと思う。自社では女性活躍に関する取組を紹介する冊子を作成しているので、参考になるかもしれない。

(2) 今後の啓発事業の内容について

(3) 女性活躍を進めるために必要な取組について(意見交換)

・事務局から資料に基づき説明。今年度の「女性リーダーと語る会」、及び、次年度の「女子学生と語る会 in うべ(仮称)」と「女性リーダーと語る会」の 3 事業について企画内容を提案し、委員から意見を伺った。（※議題(3)と並行して議論が交わされたため、まとめて記載。）

主な内容

①「女子学生と語る会 in うべ(仮称)」について

- ・女子学生を対象にした企画というのは大変興味深い。宇部市に残りたいと思っただけのような内容にしてもらいたい。
- ・市外や県外から入学してきた女子学生は、自分の地元に戻って就職したいと思う者が多いようだ。（※他の委員からは、「地元に戻った後、しばらくしてもう一度、都会に出てみたいと思う者は男子学生よりも多い。」との意見もあった。）
- ・市が「女子学生の流出を防ぎたい」との思いを持っていることを、もっとアピールすべきだ。

- ・まずは、学生が生活しやすい環境づくりを。さびれた街、不便な交通網などを解決し、市全体の活性化が必要だ。
- ・このイベントを通じて女子学生同士の横のつながりができれば、意識も変わってくるだろう。ぜひ数多く開催してもらいたい。

②多様な交流の促進について

- ・自社では女性パートが多く、現在、正社員化に取り組んでいるが、夫の理解がないと進まない状況になっている。そのため、今日参加されなかった社長(企業)とも交流を進め、男女ともに、今よりもっと働きやすい環境になることを期待している。
- ・自分が学生時代、就活担当の先生から、「会社の中だけで留まらないように。」と言われたことがあるが、社外との交流やネットワークを広げていくことはとても重要だ。
- ・イベントの開催にあたっては、いろいろな会社から同じ年代の女性が集まれるようにすれば、より一層交流が深まると思う。
- ・産業団地(宇部テクノ, 山口テクノ)においても、以前は業務以外での交流が全くなかったが、新たに協議会を作ったことで、保育園の問題や従業員の交通手段など、さまざまな面で協議できるようになった。“人とのつながり”に対する機運も高まっている。このつながりがあれば、貴重な人材の流出も防げるのではないか。

③その他

- ・(自身の職場では、)求人情報誌を活用するなどの工夫を重ね、全体の8割が地元への就職に結びついている。
- ・地元での就職に関しては、特に親元から通える勤務先になると、「どうして早く帰れないのか。」「なぜ残業する必要があるのか。」といった親からの干渉が増え、仕事がしづらくなる傾向があるが、これは地方の弊害と言えるのではないか。
- ・業種にもよるが、地元でいたいと思う女性は多いと思う。
- ・これらのイベントは、ぜひ男性の経営者にも聞いてほしい内容だ。希望者だけではなく、積極的な周知をお願いしたい。
- ・できれば、これまで女性活躍に取り組んだことのない社長(企業)にも参加していただき、取組の宣言(イクボスなど)をしてもらえると大変有意義だと思う。
- ・今日、企業内保育所の先生が子どもたちを連れて参加していたのを見て、働きやすい職場環境を整備していくことの大切さを再認識した。(保育所が完成したことで、)会社自体(風土)が柔らかくなったようで、本当に良かったと感じた。

(4)今後の会議の開催方法について

- ・イベント終了後の会議開催について委員から意見を伺った結果、長時間の拘束となりかねないとの懸念もあり、今後は別の日程で行う方が良い、との意見で一致した。

(5)その他

- ・事務局から、現在、次年度の新規事業として、「企業への専門家派遣事業(社会保険労務士など)」と、「企業における女性の就業率向上(M字カーブ解消)のための助成事業」の2点について計画している旨の報告を行った。